



心を整える part II



町体育大会に向けての練習

5月22日(水)、好天の下、第63回入善町小学校体育大会が入善町中央公園陸上競技場にて開催されました。

この大会に向けて4年生から6年生までの子供たちは、4月から体育科の時間はもちろん、朝や放課後の時間などを活用し技術と体力の向上を目指して練習に励んできました。特に、朝の合同練習は、初めて大会に参加する4年生にとっては、言葉の説明では得る



練習の準備

ことのできない多くのことを実際に見て学ぶ場であり、5・6年生にとっては、下級生に対して手本となる行動を実践して見せるよい機会となりました。大会に向けた練習である以上、技術や記録の向上を目指すのは当然のことではありますが、同時に集団行動を通して子供たちの「心を整える」よい機会でもありました。そういう視点から朝の練習を見ていて感心したことが3つありました。1つ目は、毎朝、150名余りの子供たちがざわつくことなく集合し、練習が終了した後も校舎内が汚れないようズックに付いた砂をきちんと落とすなど落ち着いた行動がとれたことです。2つ目は、練習に臨む姿勢です。待機している子供たちは、順番がくるまで行儀よく並んで待っていて、自分の番になると目当てに向けて一本一本の走りを大切にしている真剣さが練習の様子からうかがえたことです。3つ目は、当番になった子供たちはみんなで協力し合いながら、責任もってハードルの準備や後始末をしていたことです。当たり前なことではありますが、これらは子供たちの安定した心の状態が、望ましい集団行動という形になって表われているものと考えます。子供たちの心は行為や行動という目に見える形となって表れることが多いものです。子供たちの「心を整える」ように教師が意識して支援することは、集団で教育活動を進めるに当たって最も大切にしたい事柄の一つであり、長い目で見ると健やかな成長に繋がっていくものと考えます。



授賞式



大会当日の開会式

大会当日は、子供たちの開閉会式に臨む態度並びにテント内でのマナーや懸命な応援が大変よかったです。競技についても、どの子供も「自分の目標に向かって全力を出し切り、最後まであきらめない」姿が見られましたし、全体的により成績を収めることができました。先日、授賞式を行いました。子供たちの話を聞く姿勢と態度がとても立派でした。これも子供たちの「心が整っている」証なのかもしれません。このことを次への教育活動に生かしていくことで更なる成長に繋げていきたいと思えます。何とぞ、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

入善高校の皆さんとの交流会



野菜の苗植え

5月22日(水)入善高校農業科の2年生の皆さんと本校の2年生とで交流会を行いました。それぞれペアになって、野菜の苗植えやゲーム等を通して互いに触れ合いを深めながら、笑顔の絶えない楽しい一時を過ごすことができました。野菜の苗植えでは、ミニトマトやナス等の苗の植え方を丁寧に教えてもらいながら一緒に植えたり、体育館をいっぱいに使ったゲームでは、高校生のお兄さんやお姉さんに思いっきり甘えて遊んでもらったりと年齢こそ違いますが、それぞれの立場で意義のある交流会になりました。

短い時間でしたが、2年生の子供たちにとっては楽しい思い出として心に強く残ったものと思います。入善高校の皆さんには深く感謝いたします。今回の交流をよい機会として今後も苗の成長と共に、子供たちの成長も温かく見守っていただくようお願い申し上げます。



感謝の手紙